

特集 若者と平和構築



南スーダンの若者たち

「世界人口白書」によると世界には 10 歳から 24 歳の若者が 18 億人おり、そのうちの 16 億人が途上国で暮らしています。

たとえばソマリアや南スーダンでは、人口の 70% 以上が 30 歳以下といわれています。兵士として動員されたり、家族を失ったりして、若者たちはとくに紛争の影響を受けやすい存在ですが、紛争後には、平和な国づくりに貢献する大きな可能性を秘めています。



練馬区立光が丘中学校・職業体験

11月に練馬区立光が丘中学校2年生の八木菜優花さんの職場体験の受け入れを行いました。2014年のノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイ氏のスピーチに感銘を受けた八木さんは、世界の情勢をもっと深く知りたいと考えて、JCCPを選んだそうです。

JCCPの活動地をマッピングした世界地図の作成や、事務作業をてきぱきとこなしてくださいました。将来は国際的に活躍できる仕事に就きたいそうなので、JCCPでの経験が少しでも八木さんの将来に役立つことを心より願っております。

ご支援ありがとうございます



SukuSuku Co. Ltd 様からの
ご支援

SukuSuku Co. Ltd 様より、ケニアのマザレ地区へ10台の自転車のご寄付をいただきました。

2台は対象地区の行政責任者へ、8台は市民団体へ寄贈されました。地域住民へ啓発活動を行うときに、自転車を活用して迅速に移動することができます。

自転車を受け取った行政責任者は感謝の気持ちを述べました。SukuSuku Co. Ltd 様のご支援にJCCPからも心より感謝申し上げます。

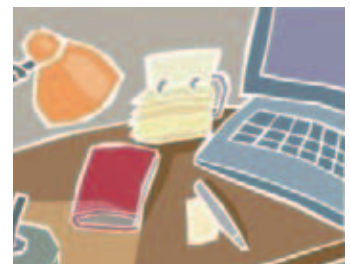
支援者の声

Interview with the supporter

このコーナーでは、日々のJCCPの活動を支えてくださっている支援者の方々の声をお届けします。第2回は、週に1度、東京本部事務局でボランティア活動をしてくださっている班学人さんにお話を聞きました。班さんは現在大学の工学部の学生です。

Q. 紛争予防に関心を寄せたきっかけは？

A. テレビを見たり伝記を読んだりして、子どものころから紛争や戦争に関心を抱いていました。大学生になってから、実際に国際機関で働く方々や、テレビ番組のNHKスペシャルの元プロデューサーの講演を聞いて、自分も途上国や紛争の問題に関わることを考えるようになりました。



Q. JCCPでのボランティア活動はどうですか？

A. 紛争予防や紛争解決への様々な関わり方を直接見て、自分に何ができるか探したいと考えているため、JCCPで働く人を間近で見られることはとてもいい機会です。今後は専門知識を深めると同時に、将来実際の活動に主体的に関わることをできる力を身につけていきます。

いつもテキパキと事務局の作業を手伝っていただいています！
班さん、ご協力ありがとうございました！